

ヒットブランド の源泉

DX アンテナ株式会社



DXアンテナ

DX アンテナ株式会社 概要

本社所在地：神戸市兵庫区浜崎通2番15号

創業：昭和28(1953)年8月1日

代表取締役社長：長代 輝彦

従業員数：434名(平成30年2月現在)

事業内容：各種アンテナ及びテレビ受信関連機器・CATV
関連機器・情報伝送システム関連機器・
セキュリティシステム関連機器全般の製造販売、
並びに付帯する調査・設計・施工管理

H P：http://www.dxantenna.co.jp/

沿革：

1953年：有限会社関西テレビジョン研究所として神戸市において創業。

1966年：社名をDXアンテナ株式会社に変更し、新デザインによる商品を制定。

1978年：わが国初の実験用SHF放送衛星の受信装置で信号の鮮明受信に成功。

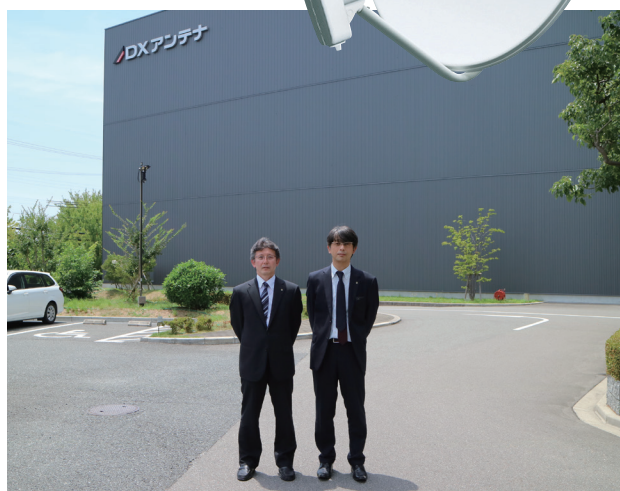
1996年：CSデジタル放送の開始にあたり他社に先がけデジタル対応機器を開発。

2003年：三大都市圏での地上デジタル放送サービス開始に合わせ、新形UHF全帯域用アンテナ「デジハット」「デジカイト」を商品化。

2009年：ハイビジョン放送信号を高品質のままワイヤレス伝送を行うミリ波伝送システムを発表。美しさと高性能を両立させた地デジ用平面アンテナを発売。

2013年：西神テクノロジーセンター内に国内有数規模の「電波暗室」を開設。

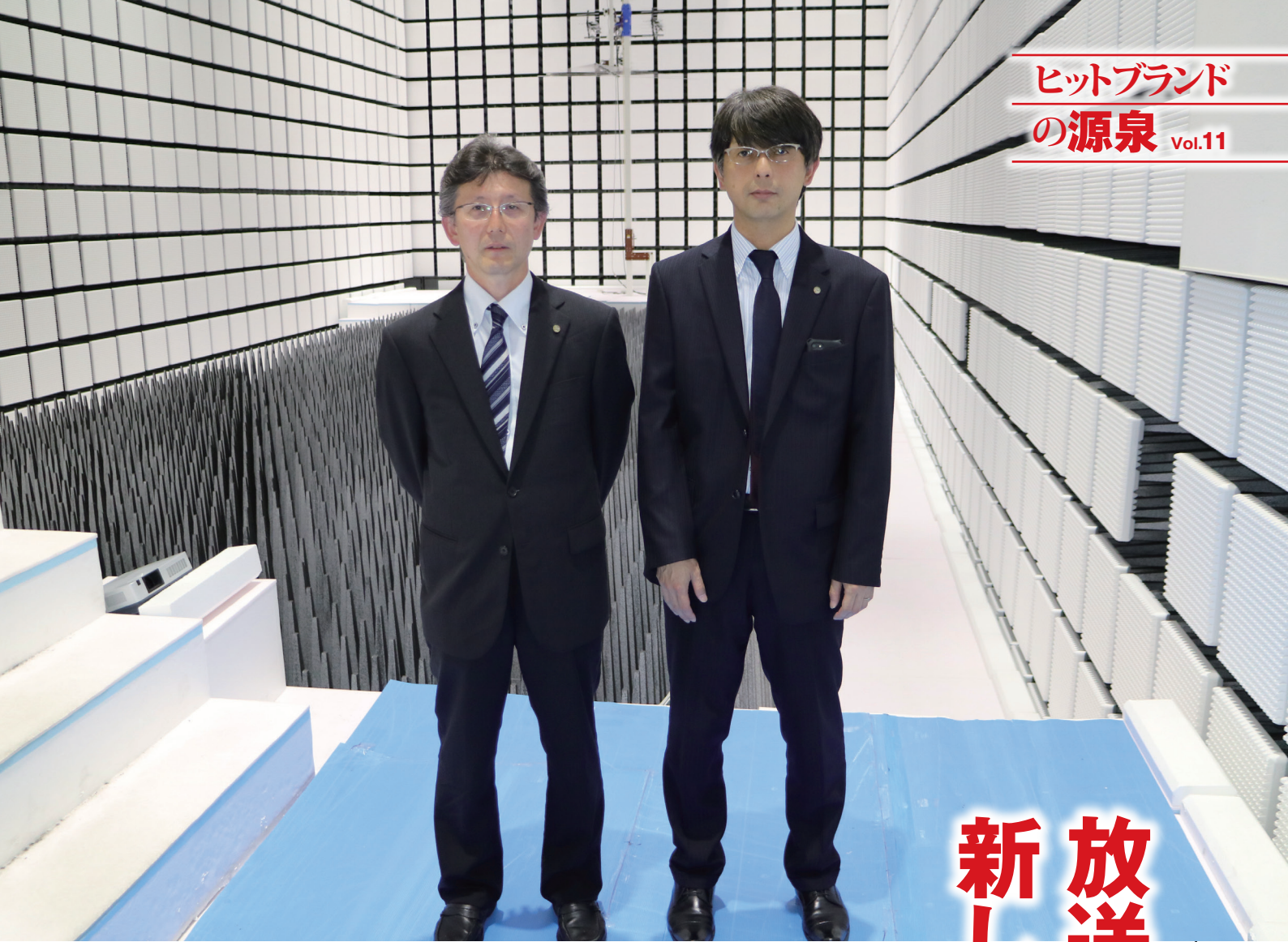
2017年：エレコム株式会社のグループ企業に参画。



兵庫県神戸市に本社を置くのは、アンテナメーカーのDXアンテナ株式会社様。神戸市西区の西神テクノロジーセンターには国内有数規模の「大型電波暗室」ほか各種最新試験設備を備え、日々研究開発に邁進しているといえます。

西神テクノロジーセンターで、楯川清隆取締役開発本部長、川幡貴之営業本部営業企画課担当課長の2氏にお話しいただきました。

(文中での敬称は略させていただきます。)



左…楯川清隆 取締役開発本部長 右…川幡貴之 営業本部営業企画課担当課長

放送と通信の融合で 新しい領域を切り開く

編集部 御社ではどのような商品ブランド展開をされているのでしょうか。

川幡 当社では、開発・販売している商品を二つのブランドに大別しています。放送受信関連の商品を取り扱う「DXアンテナ」と伝送技術を防災・福祉・リニアアル・セキュリティの分野で生かすべく立ち上げた「DXデルカテック」です。

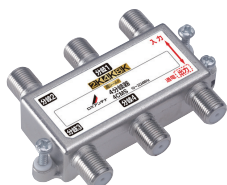
編集部 防災や福祉の分野でも事業展開されているのですね。

楯川 これまで63年間、放送関連の伝送をやってきましたが、今、世の中は放送の伝送だけでなく、通信からくる情報の伝送も社会インフラに欠かせません。

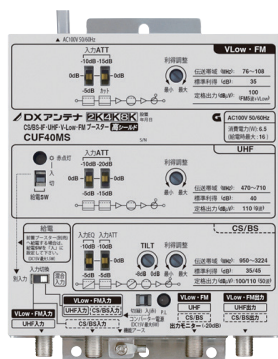
2017年にエレクトロムグループとなったことを機に、これまで培ってきた伝送技術だけでなく、情報通信技術を融合して防災や福祉、セキュリティ、リニアアルといった新しい分野に挑戦しています。これは、よりお客様目線で事業を行うことであり、長年伝送技術を培ってきたメーカーとしての使命でもあると思います。

**どんな設備や環境にも
対応できる「2K・4K・8K
マルチシリーズ」**

編集部 では、数ある商品の中でヒットブランドといえる代表的な商品は何になるのでしょうか。



分配器



共同受信用ブースター



家庭用ブースター



信号発生器



レベルチェッカー

川幡 「4K・8Kマルチシリーズ」というシリーズ名では、これまでの2K放送が受信できなくなるという誤解を一般のユーザーに与える可能性があります。

楯川 2018年12月に開始される新4K8K衛星放送に対応した受信機器で、これまでの2K放送はもちろん、これからの新4K8K衛星放送のどちらにも対応した商品です。アンテナから、レベルチェッカー、ブースター、分配器、ケーブルまで、どんな設備や環境にでも対応できる様に幅広い商品のラインアップを取り揃えています。

編集部 商品の特長を教えてください。ただけですか。

川幡 現時点では、「DXアンテナ」ブランドの中の「2K・4K・8Kマルチシリーズ」となります。約2年前に発売しまして、右肩上がりでの引き合いが増えています。

川幡 例えはアンテナでは、従来の2K放送と新4K8K衛星放送の両方を1台で受信し、1本の同軸ケーブルで伝送することが可能な「BC453Sシリーズ」があります。アンテナ単体の「BC453S」、ご購入いただいたすぐに設置・受信が可能な金具・ケーブルセットの「BC453SK」、さらに角度調整を容易に行えるレベルインジケーター付属の「BC453SSCK」を、用途に応じて選択できます。

川幡 例えはアンテナでは、従来の2K放送と新4K8K衛星放送の両方を1台で受信し、1本の同軸ケーブルで伝送することが可能な「BC453Sシリーズ」があります。アンテナ単体の「BC453S」、ご購入いただいたすぐに設置・受信が可能な金具・ケーブルセットの「BC453SK」、さらに角度調整を容易に行えるレベルインジケーター付属の「BC453SSCK」を、用途に応じて選択できます。

編集部 具体的な商品例としてはどういったものになるのでしょうか。

川幡 例えはアンテナでは、従来の2K放送と新4K8K衛星放送の両方を1台で受信し、1本の同軸ケーブルで伝送することが可能な「BC453Sシリーズ」があります。アンテナ単体の「BC453S」、ご購入いただいたすぐに設置・受信が可能な金具・ケーブルセットの「BC453SK」、さらに角度調整を容易に行えるレベルインジケーター付属の「BC453SSCK」を、用途に応じて選択できます。

当社では放送関連分野に携わり続けてきた歴史ある企業として、新4K8Kにいち早く対応する必要があると考え、本シリーズを手がけ

新4K8K衛星放送にいち早く対応

編集部 製品開発の背景について教えてください。

楯川 新4K8K衛星放送では、現行の2K放送を超える高精細で臨場感の溢れる映像をお楽しみいただくことができるようになります。これまでよりも高い3224MHzの周波数で伝送されるため、同軸ケーブルや分配器など受信機器の減衰量が増加し、受信レベルが低下します。新4K8K衛星放送の全てを受信するためには、低下した受信レベルを補うためのブースター増設など、受信システムの見直しが必要となります。

ました。

編集部 技術面でのDXアンテナ様のこだわりポイントは、どんなところでしょうか。

楯川 新4K8K衛星放送の受信機器は、同じ伝送周波数の帯域を使用するほかの無線機器との電波干渉を防止するため、高いシールド性能が要求されます。かといって、筐体のサイズが大きくなり、設置に必要なスペースが増大すると意味がありません。見た目はこれまでよりコンパクトか同等でありながら、電波漏洩基準をクリアした高シールド設計の商品を展開しています。

国内最大規模の電波暗室を備えたテクノロジーセンター

編集部 商品として確立するまでは、多くの困難があったことかと思えます。

楯川 お客様に安心して商品をお使いいただくうえで、電

波漏洩の対策について厳しい基準をクリアするために、各種試験を行うことが、商品として確立する上で困難なことでした。

編集部 どのようにしてその困難を解決されたのでしょうか。

楯川 当社は、西神テクノロジーセンターに国内でも最大規模の電波暗室ほか各種試験室を備えており、実環境を想定した試験に取り組むことが可能です。外部からの電波の飛び込みや、衛星放送受信設備による他の無線システムへの電波干渉対策は必須ですが、電波暗室を利用することで、信頼性の高い商品の開発ができました。その結果、新4K8K衛星放送受信機器の開発・販売を他社に先駆けて行うことが出来ました。

川幡 開発当初は研究室に泊まり込んで、24時間体制で試験を繰り返し続けたということもよくありましたね。

カスタマーセンターは土・日・祝日も営業。充実のサポート体制

編集部 新4K8K衛星放送について、どう対応したらよいかわからないという電気工事店様、ユーザー様も多

いかと思います。

川幡 確かに、システムの設計やリニューアルの問い合わせが非常に増えています。9月から名古屋・仙台・広島・東京・大阪・福岡の全国6カ所で当社独自の展示会を開催し、講習会を行う予定です。また、お客様からご依頼を頂ければ、勉強会も開催します。

DXアンテナは、商品に関するお問い合わせや、設置や受信に関するお困りごとに迅速に対応するため、お昼時間や土・日・祝日もカスタマーセンターを営業しています。土・日・祝日も対応しているのは業界では

当社だけです。

編集部 HPで製品取付動画も公開していらっしゃる。

川幡 取扱説明書をご覧にならないお客様もいらっしゃいますので、商品本体の裏や取扱説明書の裏にQRコードを貼付し、製品取付動画のページへ手軽にアクセスできるようにしています。



編集部 最後に 本誌読者の電材卸店の方へメッセージを。

楯川 これまで、放送関連機器の専業メーカーであった当社は、エレコムの通信関連機器など豊富な商品群を新たにご提案できるようにになりました。また、4K8K化改修・ネットワーク構築・セキュリティカメラシリーズをトータルでご提案できるようになったことで、電材卸店様やそのお得意先様である電設事業者様に対

してご提供可能な商品群・ソリューションの幅は大きく広がりました。

今後は、2020年の東京オリンピック開催に向けて、新4K8K衛星放送への関心がさらに高まります。4K8K化改修についての助成金制度も開始されました。新4K8K衛星放送の開始が目の前に迫る今、この需要に対し、電材卸店の皆様と共に応えてまいりたいと考えております。

もちろんこれまでの放送関連機器は引き続き開発に注力していきますが、放送と通信の融合をさらに深め、新たな商品・ソリューションの提案を行っていくことで、電材卸店の皆様と共により一層この業界を盛り上げられることを切望しております。

DXアンテナの柱

高品質な製品づくりを支えるテクノロジセンター



神戸西神テクノロジセンターでは、放送受信関連機器を中心にものづくりを担う拠点として、高度で効率的な開発を実現。昨今の激しい気象環境に対応し、ものづくりのクオリティを高めるために試験室を充実、様々な研究にいち早く取り組んでいます。国内最大規模の電波暗室をはじめ、各種試験室を新設、よりクオリティの高い製品を

迅速・的確に開発することが可能となりました。

公的資格手当支給規定

放送関連の事業を行うには多種多様な資格の取得が不可欠。DXアンテナの「公的資格手当支給規定」は、会社が認める公的資格取得を奨励するためのもので、社内定められた資格の取得に対して手当が支給されます。

業務知識に関する「CATV技術者」「陸上特殊無線技士」、建設業に関する「電気通信主任技術者」、商品開発に関する「電子機器組み立て技能士」など、所属する部署に応じて有用な資格を取得すると、規定に応じて取得費用、更新費用、月額手当、合格一時金が支給されます。



温度変化試験



大型電波暗室



EMC 電波暗室



中型電波暗室

高精細は新次元へ。

— DXアンテナの —
イチ推し!
ICHIOSHI
ご紹介



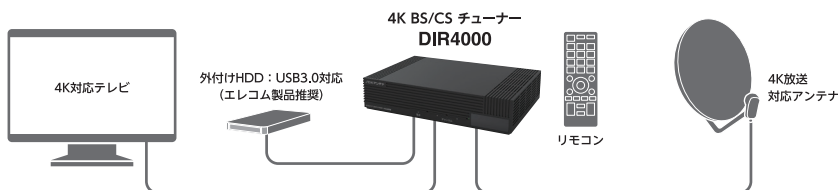
4K BS/CS チューナー

2018年秋発売予定

【意匠登録出願中】

【付属品】 ACアダプター／リモコン／セットアップガイド／保証書

今あるテレビに接続するだけで、
2018年からはじまる新4K衛星放送が楽しめます。



規格特性		
商品名	4K BS/CS チューナー	
型番	DIR4000	
価格	オープン価格	
チューナー	地上デジタル	○
	BSデジタル	○
	110度CSデジタル	○
USB HDD録画	BS/CS 4K	○
	地上デジタル	○
	BSデジタル	○
端子	110度CSデジタル	○
	BS/CS 4K	○
	HDMI出力端子	1系統
	USB端子 (USB3.0)	1系統
	LAN端子	1系統
	BS/110度CSアンテナ端子	1系統
外形寸法	地上デジタルアンテナ端子	1系統
	DC入力	1系統
外形寸法	(幅×高さ×奥行) mm	44 × 201.5 × 146
	※突起部含まず	
付属品	ACアダプター、リモコン、セットアップガイド、保証書、HDMIケーブル	

新4K 8K衛星放送に対応した受信機器として、4K対応テレビに接続するだけで新4K衛星放送の番組が視聴できる「4K BS / CS チューナー」を発売する予定。

現在、国内の4K対応テレビの出荷台数は460万台に上りますが、チューナーを内蔵していない4K対応テレビ本体だけでは新4K衛星放送を受信することが出来ず、番組を視聴するためには別途外付けチューナー

が必要となります。

「4K BS / CS チューナー」用にエレコム社製の外付けHDDも提供することができ、併せてご使用いただくことでさらに新4K衛星放送がお楽しみいただけます。

間もなく開始される新4K 8K衛星放送に向けて、ご家庭で新4K衛星放送の番組を視聴するための必須の機器です。

また、エレコムグループとして、

ご家庭や施設内でインターネット環境の構築に必要なスイッチングハブや無線LANルーター、およびLAN配線機器類、工事現場など様々な環境でデータ端末として活用できる堅牢タブレット、LAN配線の完備されていない環境でもインターネット配信を可能とする同軸線モデムなど、次代のニーズに合った商品のアピールにも注力していく計画。

CS/BS ラインブースター

新4K8K衛星放送
(3224MHz)に対応!

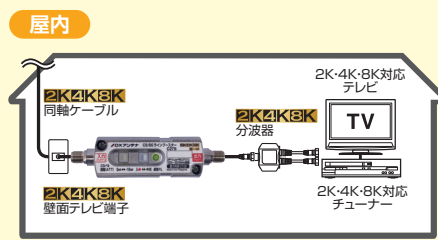
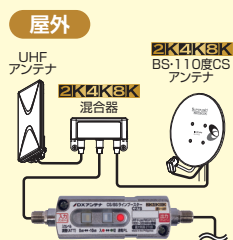
2018年4月1日から施行
電波漏洩技術基準に
対応!

スカパー!プレミアム
対応

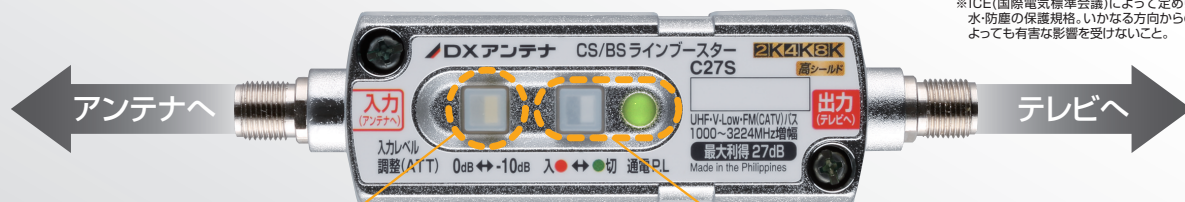
新発売

テレビやレコーダーの増設で弱くなったテレビ信号のレベルを補います。

高利得設計
最大 **27dB**



IPX4に適合した
防水構造※で
屋外 屋内
共用!



※ICE(国際電気標準会議)によって定められている防水・防塵の保護規格。いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けにくいこと。

入力レベル調整スイッチ

電源供給用通電スイッチ

入力レベルが低い場合

「0dB」側に



アンテナに近い位置など
入力レベルが高い場合

「-10dB」側に



CS/BSアンテナへの通電時

赤色点灯

CS/BSアンテナに電源を送る場合は

スイッチを「入」にしてください。

※出荷時の設定は「切」側です。

製品本体への通電時

緑色点灯



アンテナマストに
しっかり固定!

マストに沿う形で
スレにくい構造



■高利得設計(最大27dB)
最大27dBの高利得設計のため、アンテナからテレビまでの距離が長い場合でも弱くなったテレビ信号のレベルを充分に補うことができます。

■屋外/屋内共用
IPX4※1に適合する防沫形

■製品の主な特長
※IEC(国際電気標準会議)によって定められている防水・防塵の保護規格。いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けにくいこと。

■最大27dBの高利得設計のため、アンテナからテレビまでの距離が長い場合でも、弱くなったテレビ信号のレベルを充分に補うことができます。また、IPX4※1に適合する防沫形のため、屋内・屋外のどちらでも使用することができ、取付け場所を選ばない施工性に優れた製品です。

■新4K8K衛星放送に対応した「CS/BSラインブースターC27S(B)」を7月17日に新発売。アンテナから分配器や、アンテナからテレビの間に取付け、テレビやレコーダーの増設等で弱くなったテレビ信号のレベルを補います。

のため、屋内・屋外共用で場所を選ばずに使用することができ、屋外に使用する場合、壁板への取り付けだけでなく、結束バンドを使用してアンテナマストに直接取付けすることも可能で、施工性に優れています。

■UHF・V-Low・FM (CATV)パス回路付
UHF・VHF・FM・CATV帯を通過させるパス回路付で、そのまま現行の地上デジタル放送を視聴することが可能。

■レベル調整スイッチ「アッテネーター」
テレビ信号の入力レベルを調整するスイッチが搭載されており、アンテナに近い位置へ取付けする場合でも過入力による信号品質の劣化を防ぐことができます。

■通電状態がパイロットランプで確認可能
スカパー!プレミアムサービスのご視聴にも対応しています。

■電波漏えい対策
2018年4月1日から施行の「電波漏洩技術基準」をクリアした高シールド設計。